

信楽町M集落で獣害対策研修会を開催しました

信楽町M集落は、獣（サル、シカ、イノシシ）による農作物への被害や、居住地内への侵入などが問題となっていました。

このため昨年度集落役員と甲賀地域獣害対策協議会で、集落環境点検を実施し今年度から本格的な獣害対策に取り組みました。普及指導センターは、被害の多かった共同菜園での簡易防護柵の実証展示や、山羊の放牧による不作付地の管理手法の習得など、集落ぐるみによる総合的な獣害対策に対する支援を行いました。

今回、簡易防護柵の実証展示は場のサツマイモの収穫時期を迎え、10月12日に集落公民館において、サル被害の防止対策についての獣害対策研修会を開催しました。研修会では、実証展示した簡易防護柵の効果や、サルの効果的な追い払い手法など室内研修を行い、そのあとロケット花火による追い払いの実演を行いました。

参加者から、「これまで獣害で収穫皆無だったサツマイモが、今年は無事収穫でき簡易防護柵の効果を実感した。今後も取り組みたい」との意見や、ロケット花火を使ったことのない高齢者の方も積極的に体験されるなど、非常に有意義な研修会となりました。今後は、M集落の集落ぐるみによる総合的な獣害対策の取組が加速化されることを期待しています。



ロケット花火による追い払いの練習



簡易防護柵によって2年ぶりに無事収穫できた共同菜園のサツマイモ